

環境経営レポート

2024年度

(対象期間 2023年10月1日～2024年9月30日)



2024年12月1日

株式会社大川商会

目 次

1 組織の概要	1
2 実施体制	2
3 環境経営方針	3
4 中期環境目標の設定	4
5 環境活動取り組み内容	5
6 環境活動取り組み結果と評価	8
7 次年度の取り組み	10
8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	11
9 代表者による全体評価と見直しの結果	12

1.組織の概要

1.組織

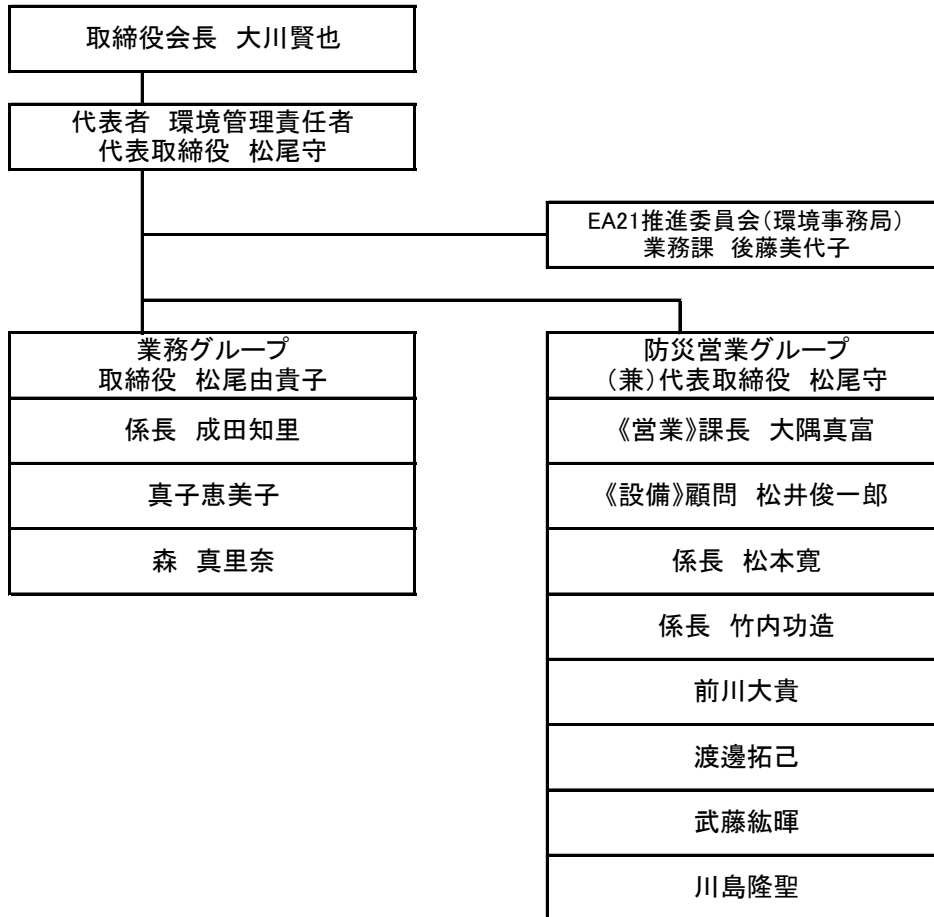
名 称 株式会社大川商会
設 立 1967年8月
代表者 代表取締役 松尾守
所在地 名古屋市西区上名古屋2丁目23番10号
資本金 1,000万円
売上高 453百万円(2024年9月期)
従業員数 14名(2023年9月期)
社 屋 2階建て 床面積400㎡
事業活動 防災設備・機材の販売、設計・施工・保守点検業務
対象範囲 全組織・全活動
事業年度 10月～9月

2.環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名 代表取締役 松尾守
連絡先 TEL 052-531-1231
連絡先 FAX 052-532-1339
連絡担当者 業務課 後藤美代子
連絡先 TEL 052-531-1231
次回発行予定 2025年

2.実施体制

株式会社大川商会 実施体制図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
取締役会長	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境活動レポートの確認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境活動のデータ収集と実績まとめ ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
課長・係長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3.環境経営方針

＜経営理念＞

当社は防災に携わる企業として、高い技術力と先見性を持ってお客様に「安全」を提案しお客様の「満足」を獲得し お客様の「満足」を「信頼」に変え、「感動」を与え、防災を通じて、環境保全活動に積極的に取り組むことにより社会に貢献します。

＜環境経営指針＞

企業活動(消防用設備メンテナンス・改修工事及び消防用販売における旧機器回収)が環境に与える影響を正しく認識し、環境経営目標を定め、定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。

1. 地球温暖化防止のために、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
 2. 廃棄物排出量の削減と資源リサイクルに取り組みます。
 3. 使用する水の低減に取り組みます。
 4. 環境に関する法律、規制、協定及び外部からの要求事項を遵守します。
 5. 販売商品の環境配慮とリサイクルの推進に努めます。
- この環境経営方針は、全ての社員に周知徹底し、社外に対しても公開するとともに環境に対する意識の向上に努めます。

制定日：2022 年 10 月 1 日
株式会社 大川商会
代表取締役 松尾 守

4.中期環境目標の設定

環境目標 項目	中期の環境目標 (2026年度まで)	単位	基準値 (基準年)	2024年度 2023.10-2024.9	2025年度 2024.10-2025.9	2026年度 2025.10-2026.9
1-① 事務所内 の二酸化 炭素排出 量削減	これまでの永年の削減取組の結果、これ以上の削減は業務に支障をきたすおそれもあり、中期目標は基準値以下とします。	kg-CO ₂	7,974 (2023年 実績)	7,966 (基準値 以下)	7,958 (基準値 以下)	7,950 (基準値 以下)
1-② 業務用車 両の二酸 化炭素排 出量削減	業務量に伴い車両の使用頻度が変動する為、基準値および目標値を走行距離当たり二酸化炭素の排出量の管理項目へ変更し取組を継続します。	kg-CO ₂ /千 km	271.4 (2023年 実績)	271.2 (基準値 以下)	271.0 (基準値 以下)	270.8 (基準値 以下)
2 上水の 節水	生活用水のみの少量使用のため、中期目標は一人当たり上水使用量を管理項目として基準値以下とします。	m ³ /人	8.6 (2023年 実績)	7.8 (基準値 以下)	7.0 (基準値 以下)	6.2 (基準値 以下)
3 廃棄物 排出量の 削減	①一般廃棄物排出量の削減	袋	193 (2023年 実績)	192 (基準値 以下)	191 (基準値 以下)	190 (基準値 以下)
	①産業廃棄物排出量の削減	kg	5,582 (2023年 実績)	5,560 (基準値 以下)	5,538 (基準値 以下)	5,516 (基準値 以下)
4 販売商 品の環境 配慮とリ サイクル推進	①エコマーク認定消火器の 販売促進	%	88.9% (2023年 実績)	89.0% (基準値 以上)	89.1% (基準値 以上)	89.2% (基準値 以上)
	②顧客使用消火器の回収促進と リサイクル	%	94.0% (2023年 実績)	94.1% (基準値 以上)	94.2% (基準値 以上)	94.3% (基準値 以上)

注1.化学物質の使用はありません。

2.購入電力のCO₂排出係数は、
中部電力ミライズ(株)の2022年度のCO₂排出係数0.433(kg-CO₂/kWh)を使用。

5.環境活動取組み内容

1.二酸化炭素排出量削減

1) 事務所内(冷暖房、照明、OA機器、都市ガス)の二酸化炭素排出量削減

エネルギーの種類	用途	現状の問題点	活動取組内容
電力	空調	夏季の冷房設定温度が低い。 使用時間が長い。	設定温度を定める→28度 使用していない部屋は電源を切る
	照明	休憩時間に消灯していない。 必要以上の光源については削減	「省エネラベル」を改善(表示を大きく)し、 貼り直ししてお互いに注意する
	OA機器	未使用時も電源が入っている	休憩時間や使用していないOA機器は 電源を切る
都市ガス	給湯	特に問題点はない。	現状維持
	空調		電力の空調も活用

「省エネラベル」の改善(表示を大きく)



LED蛍光灯の削減(本数)駐車場、倉庫
必要以上の光源場所



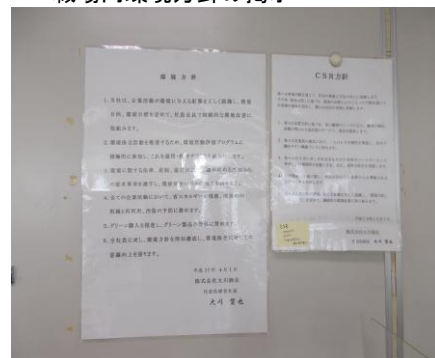
2) 業務用車両の二酸化炭素排出量削減

エネルギーの種類	用途	現状の問題点	活動取組内容
ガソリン 軽油	業務用	荷室に unnecessary 荷物を積みっぱなしにしているため、燃費が悪くなっている	①車両点検の実施 ②エコドライブの意識向上(急加速、発進の自粛) ③車両の整理整頓 ④効率的な運航計画の策定
		車両の燃費が悪い	①車の更新時は、低公害車や 低燃費車を導入

「エコドライブ10のすすめ」を車内に常備し意識向上を図る。



職場内環境方針の掲示



2. 上水の節水

- ・節水意識の啓発と実践の徹底。
上水使用の蛇口に「節水ラベル」を貼り付けてお互いに注意しあう。



3. 廃棄物排出量の削減

- ・資源、廃棄物分別一覧表による分別の徹底
- ・再資源化の推進

分別ボックスの設置



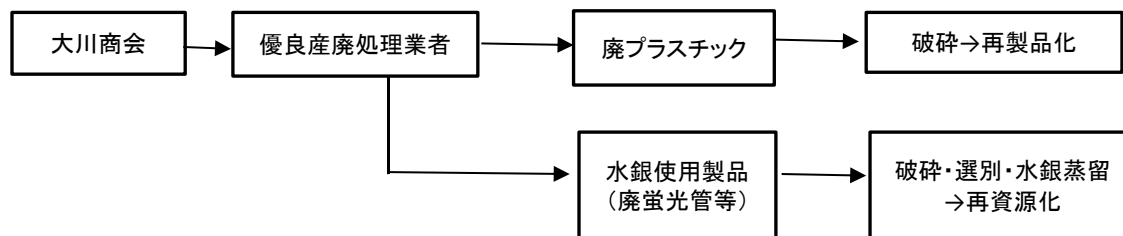
資源、廢棄物分別一覽表

[illegible]

整理整頓区割りとチェック表



産業廃棄物のリサイクルシステム
(廃プラスチック、水銀使用製品(廃蛍光管等))



4.販売商品の環境配慮とリサイクル推進

- 1)エコマーク認定消火器の販売促進
- 2)顧客使用済消火器の回収促進とリサイクル

メーカー返却用回収消火器



消火器内の回収薬剤
(放射試験回収薬剤)



リサイクル回収依頼時の安全処置方法表示
(小型充電式電池)



エコマーク認定消火器の販売促進

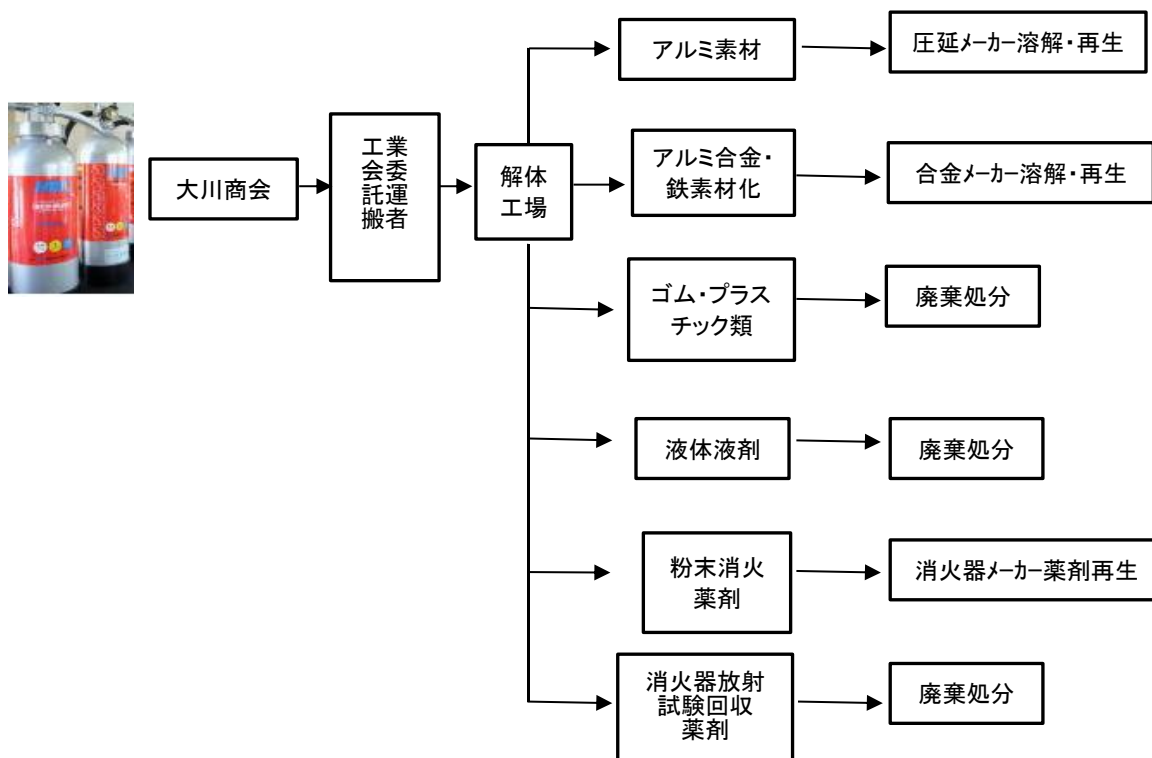


《保守点検サービスの啓蒙》

各種消火設備、避難・警報設備の法定保守点検
各種消火設備、避難・警報設備の修理補修
消火薬剤の詰替え、廃棄処理



アルミ製消火器のリサイクルシステム



6.環境活動取組み結果と評価

評価基準:達成度による

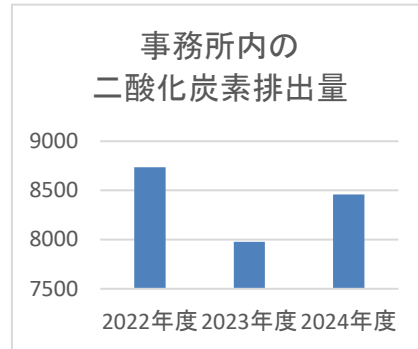
○:100%以上、△:90%以上～100%未満、×90%未満

(達成率 計算式:削減目標=目標/実績、増加目標=その逆数 以下、同基準による。)

1. 二酸化炭素排出量削減

1) 事務所内(冷暖房、照明、OA機器、都市ガス)の二酸化炭素排出量削減 ★達成率・評価(94.1% △)

項 目	CO ₂ 排出量(事務所内)	
	2024年度目標 (=基準値(2023年度)以下)	2024年度実績
	排出量	排出量
電力従量	6,864	7,290
電力低圧		
都市ガス	1,013	1,077
灯油	89	95
CO ₂ 排出量計 (kg-CO ₂)	7,966	8,462

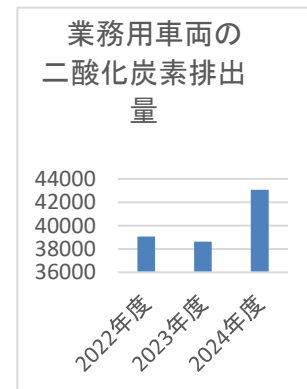


【取組み結果と評価】

ガスファンヒーターを設置し、都市ガスの使用や猛暑の影響により電力の使用料が増えたことにより未達成となった。冷暖房機器の使用時間の制限などを実施し、二酸化炭素排出量削減できるよう取り組んでいきたい。

2) 業務用車両(ガソリン・軽油)の二酸化炭素排出量削減 ★達成率・評価(94.7% △)

項 目	CO ₂ 排出量(社外(業務用車))	
	2024年度目標 (=基準値(2023年度)以下)	2024年度実績
	排出量	排出量
ガソリン	37,425	35,442
軽油	7,211	7,615
全走行距離		150,263
CO ₂ 排出量 ／走行距離	271.2	286.5



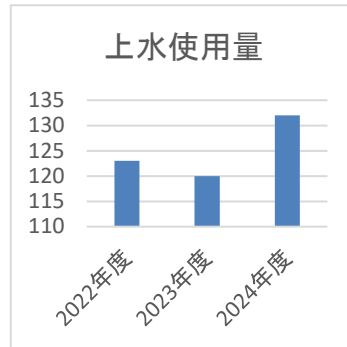
【取組み結果と評価】

エコドライブ10を全車に常備し、今後も常に意識していく。

目標が達成できなかったため、走行距離を減らすため走行経路の見直しなど来年度以降はよりエコドライブを意識し目標を達成できるよう取り組んでいきたい。

2. 上水の使用削減 ★達成率・評価(85.7% ×)

項 目	単位	上水使用量		
		基準値(2023年度実績)	2024年度目標	2024年度実績
上 水	m ³	120	109.2	132
人 員	人	14	14	14.6
使用量/1人あたり	m ³ /人	8.6	7.8	9.1

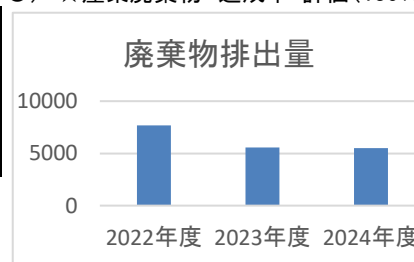


【取組み結果と評価】

節水意識を徹底し、節水意識の向上を図ってきたが、未達成となった。
改めて社員全員で節水意識を高め、目標達成できるよう取り組んでいきたい。

3. 廃棄物排出量の削減 ★一般廃棄物 達成率・評価(101% ○) ★産業廃棄物 達成率・評価(136% ○)

項 目	単位	廃棄物排出量		
		基準値(2023年度実績)	2024年度目標	2024年度実績
一般廃棄物	袋	193	192	190
産業廃棄物	kg	5,582	5,560	5,504



【取組み結果と評価】

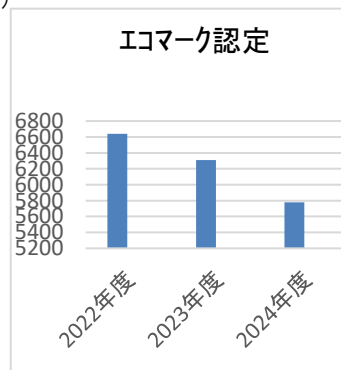
一般廃棄物排出量の目標達成に関してはリサイクルや分別意識の向上が結果に繋がった。
引き続き意識向上に努めていきたい。産業廃棄物についても削減となったが、業務内容によって左右される傾向があり、達成が困難な場合もあるため、今後も排出量削減の意識をもって取り組んでいきたい。

4. 販売商品の環境配慮とリサイクル推進

1)エコマーク認定消火器の販売促進 ★達成率・評価(101% ○)

2)顧客使用済消火器の回収推進とリサイクル ★達成率・評価(103% ○)

項 目	単位	エコマーク認定消火器の販売促進		
		基準値(2023年度実績)	2024年度目標	2024年度実績
販売本数	本	7,057	7,190	6,421
エコマーク商品	本	6,309	6,400	5,778
販売本数の内エコマーク商品の割合	%	88.9%	89.0%	90%
顧客消火器回収	本	6,662	6,766	6,215
回収本数/販売本数	%	94.0%	94.1%	97%



【取組結果と評価】

顧客消火器回収に関しては、年度内の業務内容によって左右される傾向にあるため、目標は達成したが今後も少しでも販売本数に回収本数を近づけられるよう取り組んでいきたい。

7. 次年度の取組み

2025年度は、下記目標・事項に取り組めます。

項目	環境目標項目	基準値	2025年度目標 (2024.10-2025.9)	2025年度の取組み
二酸化炭素排出量	事務所内の二酸化炭素排出量削減	7,974 (2023年度実績)	7,958kg-CO ₂ (基準値以下)	・冷暖房機器の使用時間の制限 (残業時間の削減)
	業務用車両の二酸化炭素排出量削減	271.4kg-CO ₂ /千km (2023年度実績)	271.0kg-CO ₂ /千km (基準値以下)	・車両の整備 (オイル交換、タイヤ交換) ・社内装備品の軽減 ・客先訪問の地域別の見直し
総排水量	上水の節水	8.6m ³ /人 (2023年度実績)	7.0m ³ /人 (基準値以下)	・使用場所(用途)に応じて節水の意識の再確認
廃棄物の削減	一般廃棄物排出量の削減	193袋 (2023年度実績)	191袋 (基準値以下)	・分別場所の整理整頓 ・分別徹底による再資源化
	産業廃棄物排出量の削減	5,582 (2023年度実績)	5,538 (基準値以下)	・分別場所の整理整頓
販売商品の環境配慮	エコマーク認定消火器の販売促進	88.9% (2023年度実績)	89.1% (基準値以上)	・エコマーク認定消火器の積極的啓発活動
	顧客使用済消火器の回収と再資源化	94% (2023年度実績)	94.2% (基準値以上)	・顧客消火器の回収 ・顧客消火器の更新計画に沿った営業活動展開

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

I. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

同上 施行規則

愛知県条例 県民の生活環境の保全等に関する条例

名古屋市条例 名古屋市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例

名古屋市条例 名古屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例

名古屋市条例 名古屋市空き缶等の散乱の防止に関する条例

要求事項 廃棄物の適正処理、発生抑制、再資源化推進、再利用、廃棄物保管場所の設置と看板掲示
適正業者との契約、管理表(マニフェスト)の発行と保存、管理表交付状況報告書の提出
適正処理の情報提供、及び国・県・市の施策への協力

2 労働安全衛生法

要求事項 化学物質等の有害性等の調査及び健康障害防止措置
化学物質の掲示、備付け及び周知
指定化学物質等の譲渡時、性状及び取扱情報の提供義務(MSDSの提供)

3 高圧ガス保安法

要求事項 高圧ガスの製造、貯蔵、移動、消費時の取扱規制基準の順守

4 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律

名古屋市条例 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例

要求事項 特定物質の排出の抑制及び使用の合理化
オゾン層破壊物質の適正な回収・処理と、排出防止

5 愛知県条例 県民の生活環境保全等に関する条例

名古屋市条例 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例

要求事項 自動車の駐停車時、従業員へ原動機を停止するよう指導
駐車場内において自動車の原動機を停止すべきことを周知するための措置
アイドリングストップの励行

6 フロン排出抑制法

要求事項 空調機器等の適正設置、フロン類のみだり放出禁止、定期・簡易点検・記録の保存

7 取引先様からのグリーン調達ガイドライン

要求事項 環境管理システムの構築

順守状況 上記法律・条例に関し、全て順守しています。

II. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反は有りません。 なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間有りません。

遵守評価日 2024年12月1日

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2024年12月1日 代表者 松尾 守

1. 実施項目および情報内容

・環境経営目標の達成状況・・・	二酸化炭素排出量削減、上水使用量が未達成
・環境計画の実施及び運営結果・・・	継続して問題点があれば改善し、目標達成を目指す
・環境法令等の順守状況・・・	特に問題ありません
・外部からの苦情や要望等・・・	特に問題ありません
・緊急事態の対応・・・	避難訓練の結果、問題ありません
・是正及び予防処置状況・・・	問題点があれば報告

2. 変更の必要性

・環境経営方針・・・	なし
・環境経営目標・・・	なし
・環境経営計画・・・	なし
・実施体制・・・	あり

3. 総括

経済の動向や、取引先企業の経営状況により、弊社の受注内容は大きく影響を受けます。
廃棄物排出量の削減の達成を果たしたことは、一定の評価に値すると思います。
次年度以降も引き続き目標達成できるよう今一度社内全体で環境活動への取り組みを意識してまいります。
二酸化炭素排出量削減、上水使用量は目標値を達成できませんでした。
この結果については反省し、次年度は達成できるよう問題点の改善に努めてまいります。